



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月13日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 東  
 コード番号 9408 URL http://www.ohbsn.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹石 松次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理局长 (氏名) 赤塚 幸 TEL 025-267-4111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,418	△9.4	244	△26.7	300	△16.7	180	92.1
26年3月期第3四半期	14,808	2.1	333	-	360	-	93	1,439.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 365百万円 (371.1%) 26年3月期第3四半期 77百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	30.03	-
26年3月期第3四半期	15.63	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	20,614	13,939	61.1	2,099.33
26年3月期	21,703	13,628	56.3	2,038.18

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 12,594百万円 26年3月期 12,227百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	3.75	-	3.75	7.50
27年3月期	-	3.75	-		
27年3月期(予想)				3.75	7.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,013	△5.4	927	△10.1	934	△11.2	477	△45.2	79.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、 除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	6,000,000株	26年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	794株	26年3月期	744株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	5,999,224株	26年3月期3Q	5,999,317株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成27年3月期の個別業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,860	2.0	575	△14.3	340	—	56.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

\* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
5. (参考) 個別業績の概要 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融政策により、国内景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、円安に伴う輸入原材料の価格上昇、消費税率アップの駆け込み需要の反動が長期化した影響などで依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めましたが、当第3四半期連結累計期間における売上高は134億1千8百万円（前年同期比90.6%）となり、13億8千9百万円の減収となりました。

また、徹底したコストの削減を図り収益の確保に全力を傾けた結果、利益面におきまして、営業利益は2億4千4百万円（前年同期比73.3%）、経常利益は3億円（前年同期比83.3%）、四半期純利益は1億8千万円（前年同期比192.1%）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

## 〔放送事業〕

放送事業におきましては、ラジオ収入は、土曜の午後に新番組をスタートさせたことや県内各地での公開放送に積極的に取り組んだことにより、前年同期を大きく上回りました。一方で、テレビ収入は収益の柱であるスポット広告が期後半にかけて伸び悩み、ほぼ前年並みとなりました。また、その他の部門の収入は、毎年恒例のプロ野球公式戦や新潟市のスケートリンクを会場にしたスケート教室など、スポーツイベントの他、新潟の食を売り込むイベントを県外で実施したことなどにより、前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は51億1百万円（前年同期比101.9%）となり、営業利益では4億6百万円の計上（前年同期比111.6%）となりました。

## 〔情報処理サービス事業〕

情報処理サービス事業におきましては、依然として企業によるIT投資が抑制傾向にあるなかで、ソフト開発収入は自治体向けマイナンバー対応改修や総合行政システム、病院向け電子カルテシステム、民間企業向け生産管理システムなどを受注したものの、納入時期との関係もあり、前年同期にあった大型の案件を補うことができませんでした。また、機器販売でも自治体関係の入札案件を受注したものの、前期にあったウィンドウズXPのサポート終了による機器入れ替え需要までには至らず、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は76億9千4百万円（前年同期比91.4%）となり、営業損益では、2億1百万円の損失計上（前年同期は6千4百万円の損失計上）となりました。

## 〔建物サービスその他事業〕

建物サービスその他事業におきましては、新設した営業課が積極的なセールスを展開したことで、広告代理業務などの営業収入は増加しましたが、土地の売却やテナントの退去などにより不動産収入は減少しました。また、施設管理収入は、ビル管理業務の新規受注があったものの、予定していたビルの改修工事が中止または延期になったことなどにより前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は10億5千3百万円（前年同期比95.9%）となり、営業利益では3千8百万円の計上（前年同期比57.3%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (財政状態の分析)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は206億1千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億8千8百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が86億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億4千1百万円減少しております。これは主にたな卸資産が9億3千6百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が22億5百万円減少したことなどによります。固定資産は、119億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億5千2百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が1億5千万円、無形固定資産が1千6百万円減少したものの、投資その他の資産が4億1千8百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債が45億2千万円となり、前連結会計年度末に比べて7億6千8百万円減少しております。これは主に未払金が6億9千5百万円減少したことによるものであります。固定負債は21億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億3千万円の減少となりました。これは主に長期借入金が2億8千8百万円、退職給付に係る負債が2億3千9百万円減少したことによります。

純資産の部では、利益剰余金の増加1億3千5百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億6千1百万円、退職給付に係る調整累計額の増加6千9百万円、少数株主持分の減少5千6百万円により139億3千9百万円とな

り、前連結会計年度末に比べて3億1千万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は61.1%となり、前連結会計年度末に比べて4.8ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

これからの見通しにつきましては、放送事業におけるテレビスポット広告の動向及び情報処理サービス事業における売上の動向が不透明ではありますが、当社グループでは、各事業部門において今まで以上に積極的、かつ、きめ細かな営業活動とサービスの提供に努めると共に、引き続きさらなるコスト削減を図り、収益の確保に努めてまいります。

以上の見通し及び方針に基づき、連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表しました「平成27年3月期の通期業績予想」を修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,246,845	3,299,948
受取手形及び売掛金	5,049,413	2,843,752
有価証券	286,280	226,358
商品	91,185	448,910
原材料	12,855	49,684
仕掛品	194,105	736,286
繰延税金資産	388,302	466,676
その他の流動資産	723,333	573,186
貸倒引当金	△14,607	△8,414
流動資産合計	9,977,714	8,636,390
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	3,049,007	2,779,130
土地	2,227,123	2,430,858
リース資産（純額）	1,404,971	1,420,434
その他（純額）	927,576	828,245
有形固定資産合計	7,608,678	7,458,668
無形固定資産	722,878	706,664
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,005,766	2,590,203
繰延税金資産	804,919	677,624
その他の投資及びその他の資産	625,068	586,304
貸倒引当金	△41,234	△41,017
投資その他の資産合計	3,394,519	3,813,115
固定資産合計	11,726,077	11,978,448
資産合計	21,703,791	20,614,838

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,883,045	2,187,348
短期借入金	1,011,340	963,600
賞与引当金	422,778	317,538
その他の引当金	62,100	8,110
その他の流動負債	910,483	1,044,210
流動負債合計	5,289,747	4,520,807
固定負債		
長期借入金	1,024,710	736,710
役員退職慰労引当金	292,500	234,218
その他の引当金	118,318	110,205
退職給付に係る負債	295,294	56,028
リース債務	1,035,320	1,007,062
その他の固定負債	18,917	10,156
固定負債合計	2,785,060	2,154,381
負債合計	8,074,807	6,675,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	12,292,921	12,428,094
自己株式	△499	△524
株主資本合計	12,598,172	12,733,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,553	188,266
退職給付に係る調整累計額	△397,165	△327,276
その他の包括利益累計額合計	△370,611	△139,009
少数株主持分	1,401,422	1,345,338
純資産合計	13,628,983	13,939,650
負債純資産合計	21,703,791	20,614,838

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）
売上高	14,808,415	13,418,787
売上原価	10,771,215	9,660,220
売上総利益	4,037,199	3,758,566
販売費及び一般管理費	3,703,649	3,513,919
営業利益	333,549	244,647
営業外収益		
受取利息	2,419	3,044
受取配当金	35,450	39,201
受取賃貸料	4,708	7,296
その他	20,171	41,762
営業外収益合計	62,750	91,305
営業外費用		
支払利息	25,740	24,640
その他	9,652	10,540
営業外費用合計	35,393	35,180
経常利益	360,907	300,771
特別利益		
固定資産売却益	—	146,505
固定資産受贈益	34,303	—
投資有価証券売却益	5,275	—
その他	67	—
特別利益合計	39,646	146,505
特別損失		
固定資産売却損	—	126,582
減損損失	—	79,952
固定資産除却損	7,347	3,321
固定資産処分損	66,531	—
会員権評価損	—	19,492
アナログ放送設備解体引当金繰入額	17,210	—
その他	991	1,157
特別損失合計	92,079	230,506
税金等調整前四半期純利益	308,473	216,770
法人税等	240,204	82,755
少数株主損益調整前四半期純利益	68,269	134,015
少数株主損失（△）	△25,522	△46,152
四半期純利益	93,791	180,167

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	68,269	134,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,358	161,810
退職給付に係る調整額	—	69,888
その他の包括利益合計	9,358	231,699
四半期包括利益	77,628	365,714
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,241	411,769
少数株主に係る四半期包括利益	△25,612	△46,054

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,910,367	8,340,724	818,681	738,642	14,808,415	—	14,808,415
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	96,539	77,422	17,483	360,478	551,924	△551,924	—
計	5,006,906	8,418,147	836,164	1,099,121	15,360,340	△551,924	14,808,415
セグメント利益又は損失 (△)	364,639	△64,447	△33,598	67,050	333,643	△93	333,549

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,049,606	7,621,112	748,069	13,418,787	—	13,418,787
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	52,180	73,344	305,597	431,121	△431,121	—
計	5,101,786	7,694,456	1,053,666	13,849,909	△431,121	13,418,787
セグメント利益又は損失 (△)	406,849	△201,010	38,452	244,291	355	244,647

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 5.（参考）個別業績の概要

## （1）個別経営成績

平成27年3月期第3四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,101	1.9	406	11.6	498	18.5	322	160.5
26年3月期第3四半期	5,006	2.1	364	65.4	420	51.4	123	△19.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	47.15	—
26年3月期第3四半期	20.64	—

## （2）個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
27年3月期第3四半期	11,928	9,898
26年3月期	11,383	9,459